

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	百貨店（担当者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク前後から天候も安定し、主力の衣料品の売上状況が回復傾向にある。特にこれまで大型店の影響を強く受けていたヤング及びキャリアライン部門での回復が顕著となっており、共に10～15%回復している。しかし、春物の生産減や天候不順による3月、4月の反動による結果ともみられることから、楽観できない。
		スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・競争相手の商品単価がより一層下落している。今後も客単価は上がらず、しばらくは厳しい競争が続く。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・販売量に特に変化はみられない。
ゴルフ場（経営者）		単価の動き	・低単価傾向が依然として続いている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク時の来客数はやや良く、順調な状況が続いている。しかし、マイホームを検討している対象客は前年と比較すると少なく、減税効果もピークを過ぎ、社会的に不安定な事項が多いことから、マイホームを検討したいが先が見えないため、じっくり考えたいとの返事が多くなっている。これまではこのような意見は45歳前後の方に多かったのだが、今回は比較的マイホーム取得意欲の高い35歳前後の方から多く聞かれている。		
やや悪く なっている	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価の前年割れが続いており、販売促進や衝動買いを促す対策などを行っても、なかなか売上に結び付かない。	
	家電量販店（副店長）	単価の動き	・今月はイベントを2回実施したが、客の意識として低価格商品に購入意欲が集中しており、高額商品の売上の動きが鈍化している。	
	その他専門店〔楽器〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後の売上額の落ち込みが、去年に比べ大きい。近郊の大型ショッピングセンターの進出等で周辺地域が発展していることによる影響、SARSによる影響、全国的な不況等、去年と違う要因に起因している。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子	・ゴールデンウィークは観光客で通りは賑わったものの、周りの飲食店舗の閉店が相次いでおり、繁盛店とそうでない店舗の明暗がはっきり分かれている。	
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の落ち込みを国内旅行でカバーできない状況である。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・イラク戦争、SARSの影響で、来客数が大幅に減少している。	
悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・観光客の往来や商店街への来客数は多少あるものの、SARSの問題も絡み、減少傾向にあるように感じられる。	
	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	単価の動き	・前年同月と比較すると来客数は増加しているが、客単価は下落している。	
	高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・観光客数は増加しているものの、来客数は減少している。レンタカーを利用する観光客の増加や中北部の街へ流れる客の増加により、那覇市内が空洞化しているためと考えられる。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・以前のような活気はないものの、夏場に向けての商品は動いている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・既存サービスの解約数が減少し、受注高が上昇している。

	変わらない			
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数が減少している。
		通信業（従業員）	取引先の様子	・インターネットへの接続サービス契約に対する顧客数が減少している。
		不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・問い合わせ件数が目立って少なくなっている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新年度の更新手続が順調に推移しており、また、今までにない新しいジャンルの派遣依頼もあるなど、派遣依頼の状況は良い傾向にある。しかし、採用するにあたり募集をかけたところ、今までにない多くの応募者があり、仕事がない状況を伺えることから、景況的には良い傾向もあれば気になる悪い傾向もあるという部分があることから、現状としては変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数を雇用形態別でみると、一般の求人は2,023人、パート求人は791人となっており、前年同月と比較すると一般求人は34.2%の増加、パート求人は14.1%の減少となっている。 ・人材派遣等請負による求人が増えており、一般求人から短期雇用のパート求人への切替えが目立っており、雇用慣行に変化が出ている。 ・有効求人倍率は0.40倍で前月より、0.04ポイント減少している。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	それ以外	・求人募集を行い採用しても、若者達は短期間でやめてしまい経費がかかることから、企業の大半は職業安定所に求人を出すのみの対応に留め、急募の時に求人誌を利用するようである。企業の掲載件数が少なくなってくると、販売部数が減り反響が少なくなるため、厳しい状況である。
	悪くなっている	-	-	-